

# エイトによる交番磁界治療が有効であった 複合性局所疼痛症候群の一例



東京医科歯科大学病院 小児科  
清水 正樹 先生

---

## 【患者背景】

15歳女子

既往歴：特記すべきことなし

家族歴：特記すべきことなし

現病歴：9歳時に突然左下腿から足部にかけての皮膚の暗紫色への色調変化、浮腫を認め、痛みが強く歩行も困難となった。整形外科および小児科で精査を受けたが、血液検査や画像検査では異常を認めなかった。明らかな受傷機転などはなかったが、症状および身体所見、諸検査の結果からその他の鑑別疾患が否定的なことから、複合性局所疼痛症候群と診断された。2週間ほどの入院で皮膚症状は改善したが、痛みは残存した。

非ステロイド系抗炎症薬、プレガバリン、ノイロトロピン、ビタミンB12、漢方治療（十味敗毒湯、防己黄耆湯）は無効であり、その後も左足背の痛みは持続し、断続的に皮膚色の変化や浮腫も認められた。症状の改善がみられないため当院へ紹介となった。桂枝茯苓丸、抑肝散による漢方治療を追加したがいずれも効果が認められなかった。

## 【エイトによる交番磁界治療開始後の経過と臨床効果】

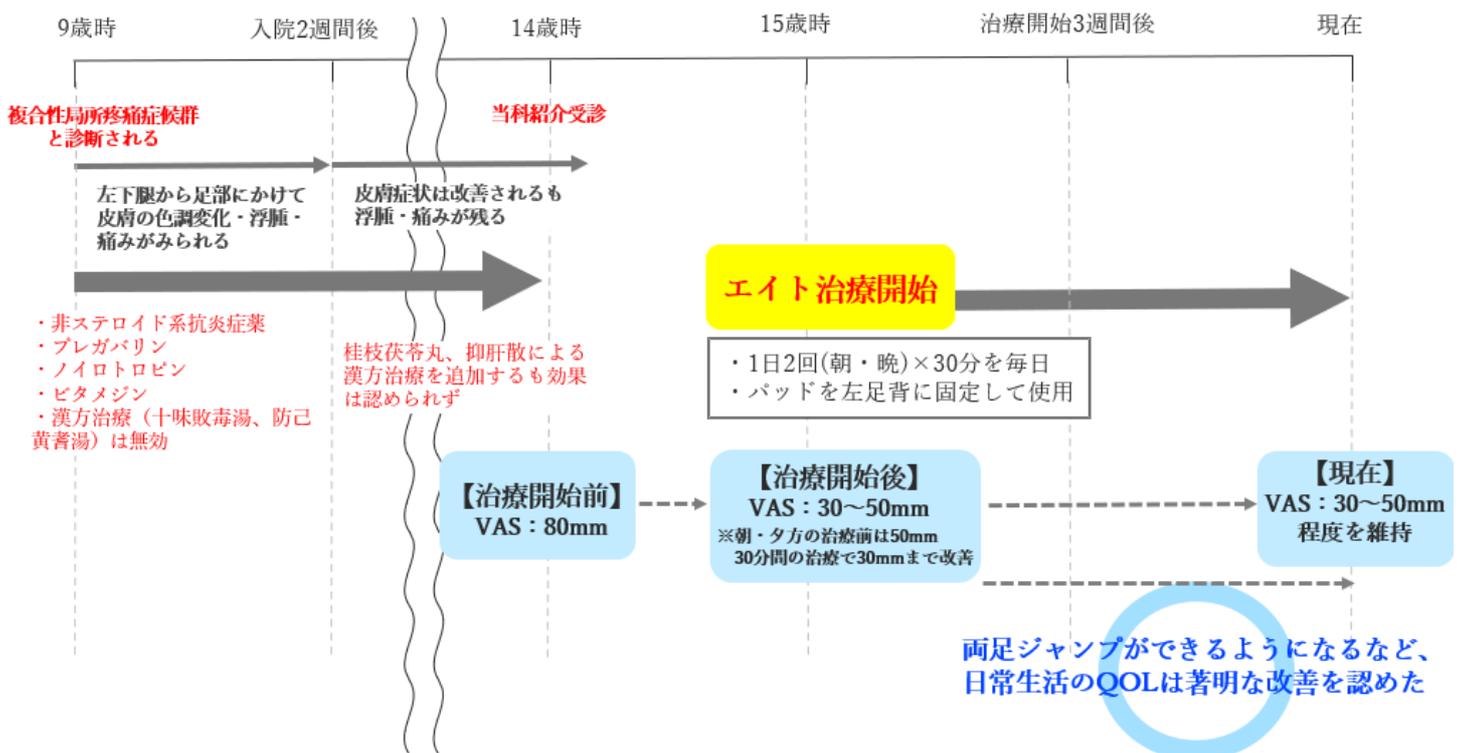
発症6年後の15歳時からエイトを用いた交番磁界治療を開始した。エイトの使用頻度は朝と晩に30分ずつ2回で、疼痛の強い左足背と左足底に1つずつパッドをあてた。治療開始直前のVisual Analogue Scale (VAS) は80mmであったが、治療開始3週間後の外来受診時には50mmまで改善した。調子がいい日は30mmまで改善を認める日もあった。本人が、発症してから一度もできなかった両足ジャンプができるようになったと喜びながら話していたことはとても印象的であった。その後も毎日1日2回の治療を行うことで日常生活のQOLは著明な改善を認め、VASも50mm程度で維持されている。

## 【パッドの固定方法】

左の足背と足底にパッドを1つずつ使用した。



## 【経過】



### 【患者へのエイトの紹介方法】

2種類の微弱な磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和する非侵襲的な治療であり、難治性の慢性疼痛疾患の代表である線維筋痛症にも臨床試験で有効性が証明された、保険診療でも用いられる医療機器であること、また操作は簡便で、安全性も高い治療であることを説明した。

### 【導入後の運用方法と問題点】

朝の治療後症状は改善するが、夕方に向けてだんだん痛みが出現するため、基本は一日2回30分ずつの治療を継続している。中断すると痛みの再燃があるため、効果を実感できている。

機器の問題点としては、バッテリーの消耗が早くかつ電池を利用した機器のため、頻回の交換が必要であることから、コンセントと接続して充電できるような機器への転換が望まれること、複数個所を同時に充てる場合にコードの接続がよく外れてしまうこと、コードが短いため施行中に体を動かすにくいことなどの改善の要望があげられている。

### 【エイトへの期待】

複合性局所疼痛症候群を代表とする慢性疼痛症候群は、薬剤抵抗性のことも多く、患者のQOLは著しく低下する。小児においては多くの場合不登校となり、痛みに対する周囲の理解も得られないことが多く、心理面への影響も非常に大きい。エイトによる交番磁界治療は安全性の高い、簡便に使用できる非薬物療法であり、今後も症例を集積し、現在はまだ認められていない在宅での治療にも保険収載されることが望まれる。

本製品の薬事承認された使用目的は、「2種類の交番磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和させる」ことです。本症例報告は疼痛緩和を目的にエイトを使用した際の臨床使用経験を示しておりますが、実際にエイトに使用される際は上記使用目的およびエイトの添付文書等に記載の使用方法等をご確認頂いたうえで、それぞれの患者様への使用適否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

#### 薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL [contact@p-mind.co.jp](mailto:contact@p-mind.co.jp)